

石渡真知子 (Machiko Ishiwata)



3歳よりピアノを始め、埼玉県立川越女子高校を経て、桐朋学園大学音楽学部音楽学科（ピアノ専攻）卒業後、渡独。州立シュトゥットガルト音楽歌劇大学大学院ピアノ科に入学。在学中より演奏活動を行い、キルヒハイム音楽祭（ドイツ）での演奏が地元新聞で紹介され好評を得る。フランシスコ・アライザ氏のオペラクラス伴奏員として研鑽を積む。優秀な成績を収め大学院修了と共に帰国。

ウィーンフォルクスオーパー首席奏者である故ハンスゲオルク・シュマイザー氏との定期的な共演を経て、室内楽プロジェクトの立ち上げや、リサイタルシリーズ「L i c h t」を展開するなど、多岐にわたり意欲的に活動を広げている。これまでにピアノを山嵯マヤ、笠間春子、村上弦一郎、故ショシャナ・ルディアコフ、フロリアン・ヴィークの各氏に師事。

YAA（若き芸術家協会）演奏会員。現在、東京六甲男声合唱団、聖イエス教会子ども聖歌隊など、複数の合唱団や音楽教室で伴奏員を務める。

小池美奈 (Mina Koike)



石川文子氏のもと3歳よりピアノを始める。田園調布雙葉学園を経て、桐朋学園大学音楽学部卒業後、アメリカ・ニューヨークのマネス音楽院に留学。Victor Rosenbaum 氏に師事し修士課程、及びプロフェッショナルディプロマ課程修了。また、ニューヨーク大学ピアノ演奏家コースにて Eteri Andjaparidze 氏のもと、アーティストディプロマ取得。

ヤングアーティストコンクール、ネオクラシック国際コンクール、Five Towns Music and Arts Foundation Young Musician Competition、American Protege など国内外のコンクールにて受賞を果たし、2016年にはカーネギーホールにて演奏する機会を得る。また2018年夏にはベルギー・ゲント音楽祭にゲストアーティストとして招かれ演奏を行う。

これまで石川文子、宗施月子、山田富士子、Victor Rosenbaum、Eteri Andjaparidze の各氏に師事。定期的なソロリサイタルの開催・大阪フィルハーモニー交響楽団と共演などソリストの活動に加え、室内楽にも意欲的に取り組み、国内外で幅広く演奏活動中。

2016-2017年、ニューヨーク大学にて非常勤講師を務める。